



安全保護に関する懸念への対処

私たちは、誰もいかなる種類の虐待も受けるべきではなく、人々の安全を守るのは私たちの責任であると考えています。この文書はすべてのボランティアを対象としており、安全保護に関する懸念に対処するために役立つリマインダーです。

今すぐこの文書を読み、クラブ活動中は常にコピーを携帯してください。最新の安全保護サポートは、raspberrypi.org/safeguarding でいつでも確認いただけます。

5つのR

私たちは安全保護に関する懸念に対処するために 5 つの R を採用しています。

認識(Recognise): 虐待の兆候を見つける方法を知る

応答(Respond): 発覚に対してどのように対応するかを知る

記録(Record): 言われたことや観察したことを明確に記録する

報告(Report): できるだけ早く安全保護責任者に相談する

委託(Refer): Raspberry Pi Foundation の安全保護チームに知らせる — 私たちはここであなたを支援します!

虐待の兆候を認識する

児童虐待の兆候は必ずしも明らかではありませんが、以下のようなものがあります:

- ・ 汚れていたり、お腹を減らしていたり、ちゃんとした服を着ていないことがしばしばある
- ・ 親や保護者を明らかに恐れている
- ・ ひどい打撲や怪我を負っている、または適切な医療を受けていないように見える
- ・ 年齢にそぐわない性的な言動が見られる
- ・ 貶され、侮辱され、罵られ、屈辱を受けている
- ・ ここに記載されていない、気になるその他の兆候

安全保護に関する懸念への対処

申し出への対応方法

若者があなたと話すときは:

- ・ 冷静に反応してください。強い反応は若者を驚かせ、不安や罪悪感を増大させる可能性があります。
- ・ 注意深く耳を傾け、若者の話を真剣に受け止めてください。
- ・ 若者に、あなたと話したことは正しいことだと安心させてあげてください。
- ・ 特に秘密保持や守秘義務に関して、間違った約束をしないでください。
- ・ 彼らがあなたに話したことが彼らの安全や健全性が危険にさらされていることを示している場合は、彼らの安全と健全性に責任がある他の人に伝える必要があることを説明してください。
- ・ 青少年にむやみに話を繰り返すように求めないでください。
- ・ 質問は内容を明確にするためにのみ行ってください。支援を行いながら、誘導的な質問をしたり、若者が話した以上の親密な内容を聞き出したりしないでください。
- ・ あなたが聞いたことや理解したことが正確であるかどうかを、若者に確認してください。
- ・ 虐待の疑いや虐待の加害者について、意見を述べないでください。

申し出に対する報告、記録、委託

あなたに対して行われた申し出や、青少年が虐待を受けている、あるいは誰かが虐待を犯しているという懸念事項があれば、できるだけ早く、それを **記録し、報告し、委託** しなければなりません。

1. 覚えておいてください、あなたの役割は調査することではなく、委託することです!
2. 懸念事項を書き留めてください:
 - ・ 見たものや聞いたものをはっきりと述べてください
 - ・ 意見ではなく事実を書いてください
 - ・ 日付と時刻を記録し、文書に署名してください
3. すべての情報を秘密に扱い、申し出または懸念について知る必要がある人とだけ共有してください
 - ・ 若者が重大な危害を受ける危険が差し迫っている場合は、警察に通報してください
 - ・ 緊急の場合は、24時間対応の電話サポートサービスにご連絡ください
全世界: +44 (0) 203 6377 112
英国のみ: +44 (0) 800 1337 112
4. 何が起こったかをできるだけ早く Raspberry Pi Foundation の安全保護チームに報告してください
 - ・ raspberrypi.org/safeguarding にアクセスし、安全保護報告フォームをクリックしてください
 - ・ できるだけ多くの情報を提供してください
 - ・ 私たちのチームのメンバーが英国の次の営業日にあなたに連絡をします
5. コードクラブが学校または独自の安全保護システムが導入されている別の会場で開催される場合:
 - ・ 学校、または独自のシステムの安全保護報告プロセスにも従ってください
 - ・ Raspberry Pi Foundation の安全保護チームに通知したことを、安全保護責任者に伝えてください